

BMS 6月例会のご案内

—127th Bungeiken Metropolis Seminar—

 **6月7日(日)9時30分～12時30分**

 **大東文化会館 404 研修室** (池袋駅より各停で15分、東武東上線「東武練馬」駅下車2～4分。大東文化大学板橋キャンパスとお間違えなく)

 **テーマ 6月文芸教材、これだけはおさえよう**

民話、ファンタジー、戦争児童文芸とジャンル・教材の特質の違いを押さえつつ、視点をふまえた切実な共同体験の成立と、ものの見方・考え方を駆使して深い学びに至る——主題・思想・典型に迫る授業づくりの提案。皆様の参加をお待ちしています。

報告①:「おおきなかぶ」 (ロシア民話・西郷竹彦訳 光村図書出版1年)


報告:長谷川洋さん(東京文芸研 聖徳大附属小学校)

報告②:「まいごのかぎ」 (齊藤倫 光村図書出版3年)

報告:上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)

報告③:「一つの花」 (今西祐行 光村図書出版4年)

報告:西真由子さん(東京文芸研 湘南学園小学校)

 **参加申込** (ハイブリッド方式) 現地参加は先着40名とさせていただきます。

申し込みについては、現地参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。
現地参加・オンライン参加共に500円

参加申し込みは <https://bms202606-bungei-tokyo.peatix.com/> から

【文芸研東京学習会(BMS)連絡先】上西信夫  →nobu.uenishi@outlook.jp

アホウドリ
次頁から信天翁通信

東京文芸研学習会(BMS6月例会)のご案内

—127th Bungeiken Metropolis Seminar—



📷 麦秋

🍷 ゴールデンウィーク前半の5月2日(土)、東京サークルの仲間入りをしていただいたJさん、明星学園小のMさん、久しぶりの現地参加のIさんも参加してBMS5月例会を開きました。今回は「**認識と表現の力を育てる説明文指導**」のテーマで山中吾郎さん(東京文芸研・大東文化大)が報告しました。パンフレットや説明書、新聞記事も情報を読み解く「説明文」ととらえる最近の実用主義にシフトした学習指導要領・教科書の現状から入り、文芸研の説明文指導に初めて接する参加者に配慮して「じどう車くらべ」(光村図書出版1年下)をテキストに、読解をふまえ、筆者の《説得の論法》から学び、《ものの見方・考え方》(《認識方法》)を育て、深い《認識内容》(=本質)に迫る文芸研の説明文指導の具体を演習的に学習しました。

後半は教科書3社の6年1学期教材——「イースター島にはなぜ森林がないのか」(東京書籍)・「雪は新しいエネルギー」(教育出版)・「時計の時間と心の時間」(光村図書出版)を**6年生でどんな認識と表現の力を育てるか**という観点で比較検討をしました。教科書の教材目標——文章の構成・要旨(表現内容)・事例(資料)・説明の仕方の工夫…を超えて、《条件》、《関連》《相関》《変換》《仮説》《模式》《相補》という高学年の《ものの見方・考え方》(《認識方法》)が《認識内容》(=本質)に迫る有効な方法であり、その獲得こそ教材目標に

🌸 インフォメーション

▼文芸研実践研究会 5月9日9時30分～10日17時 神戸市中央区文化センター(神戸三宮駅歩6分) 今夏大阪大会全レポート検討②

▼国語4団体合同学習会(大阪大会プレオンラインセミナー) 6月13日(土)9時40分～16時 枚方市ラポール枚方 参加費500円

▼今年度のBMS例会予定(原則第1日曜日) 9時30分～12時30分 **大東文化会館(東武練馬駅)**

- ・6月7日(日) **大東文化会館**
- ・7月5日(日) **大東文化会館**
- ◎8月1～2日大阪大会 枚方市
- ・9月6日(日) **大東文化会館**
- ・10月4日(日) **大東文化会館(予定)**
- ・11月1日(日) **大東文化会館(予定)**
- ・12月6日(日) **大東文化会館(予定)**
- ・1月10日(日) **大東文化会館(予定)**
- ・2月7日(日) **大東文化会館(予定)**
- ・3月7日(日) **大東文化会館(予定)**



📷なんじゃもんじゃの木(深大寺境内にもある)

※期日・会場は予定です。直前のHP掲載のBMS例会案内で確かめてください。

▽「文芸教育」(西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊) **最新138号 好評発売中! 特集「小学校教科書の詩教材 豊かに深く授業する」** / 137号 特集「国語の授業で平和学習を」好評発売中! 各号1700円+税 バックナンバーあります。年間購読をお願いします。例会でも用意します。

▽光村版・**新教科書指導ハンドブック**(学年別) 発売中 / 新読書社より各学年1700円+税 セット割引有 / この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽文芸研授業シリーズ好評刊行中! 第1弾「たぬきの糸車」(新読書社)・第2弾「一つの花」・第3弾「おおきなかぶ」・第4弾「わらぐつの中の神様」・第5弾新刊「サーカスのライオン」 / 教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にできて、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各1000円+税





📷 茶畑

BMS 会場案内



板橋キャンパスと間違えないでね



大東文化会館へのアクセス：池袋駅より東武東上線各停で7駅（約15分）、東武練馬駅（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩2～4分／学習会会場はK404 研修室（40人収容）、9時から13時まで借りています。（山中吾郎さんに尽力いただき、6月7日（日）、7月5日（日）、9月6日（日）まで予約済み。今から予定に入れてください。エデュカス東京（麹町）

より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、学習会充実のため引き続き現地参加にご協力ください。

「朝日歌壇・俳壇」より 子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む

新しい暮らしの日々が過ぎてゆくちょっぴり辛いキムチチャーハン（富山／松田梨子）

ラーメン屋さんに直行する男子テスト全教科終わった帰り（奈良／山添葵）

久しぶりにママとつなぐ手卒業す（成田／かとうゆみ）

べんとうの上に花びら落ちてきてギョへハア毛虫だぞっとするぼく（岐阜／青木文哉）

ねえちゃんとグリコしながら見たつくし（越谷／宮津亜紀）グリコ・チョコレート・パイナップル

扁額を左側から読む子たち祠の上のかえでの新芽（津島／中川晶子）扁額は寺社仏閣の門や鳥居、茶室に掲げられている書画の額のこと。

風よ吹けふんわりやさしく香らせよ盲学校の満開の桜（京都／山口有紀子）

化学という同じ道を行く孫を見て空でじいじがいいぞと笑う（所沢／菱沼志穂）

六年生の卒業最後にまたひとつ学び舎消ゆるみちのくの春（山形／佐藤清光）

岩のごと動かぬ夫（つま）が草を取り床屋へ行き待つ息子の帰省（松阪／小野多美子）

神楽面外せばうつつ児童らは汗を光らせ拍手を浴びぬ（下関／内田恒生）

少し低くなり始めたる吾子の声体育館に響く卒業（奈良／山添聖子）

我が腹に頭預けて寝る我が子ずしりと思いだけど幸せ（松戸／朝夷あかり）

東京へ攫（さら）われていく卒業子（神戸／上岡あきら）

桜など知らぬ間に散る職員室は新年度準備の去る人来る人（高松／中村将人）

春休み早く終われと思いつつ昼のマックに席をさがしぬ（神戸／長尾佳子）

大人びて見えた卒業式ののち入学式の吾子は幼き（奈良／山添聖子）

思いきりあいつの悪口並べたて酒でも呑もうか 女同士で（佐世保／近藤福代）

戦争はひとりが起こす社会主義民主主義など関係はなく（名古屋／浅井克宏）

人体模型 つめたい夜を過ごすのに表情筋がついているのね（八王子／丸山和貴）

途中から大縄跳びに入る 今日から配属の異動先にて（大阪／折戸みおこ）

オバマ氏に抱き寄せられた被爆者の森さん逝きぬ核は増えつつ（水戸／中原千絵子）201

6年現職大統領として初めてヒロシマを訪問したオバマ大統領。祈念公園での演説後歩み寄り森重昭さんを抱き寄せた。

3月14日88歳で死去

人心を壊しにかかる暴言を人間に似た動物が吐く（筑紫野／桂仁徳）虎の仲間か

あなただけ平和をもたらせるとはあなたがやめれば平和が来る意（羽曳野／玉田一成）高市首相のオベンチャラ媚態外交はこのようなブラックユーモアだったのか

その破顔想像してみるただ一文字「酒」と彫られし墓に眠る人（町田／村田知子）

ネクタイをきめて出勤したのだろう開花宣言気象庁の人（横浜／桑田よし子）毎年恒例のあれ恋猫の幽体となって戻りけり（一関／砂金眠人）

梅散って桜待つ間の花杏子（あんず）（世田谷区／松木長勝） 小さな白い可憐な花
足腰を鍛えて桜待つてをり（福岡／釋焜硯）
妻の日にせむとて求むミモザ（武蔵府中／志村耕一）
夜桜は飛び出す絵本かもしれぬ（香川県まんのう町／佐藤浩章）
瀬戸の春告げるバックの釘煮買う入れ食いのように群がる吾も（筑紫野／桂仁徳）
開墾の苦勞を覆い隠すごと棚田は葛の山河へ戻る（宮崎／木許裕夫）
白鳥は帰り静かな庭へ出し軽トラックのタイヤを変える（山形県／高橋まさじ）
タンチョウヅル、キツネにタヌキ、人間もこの黒きソーラーパネルに怯ゆ（多摩／柳田主馬）
開発の進む渋谷でただ一つ健気な「ハチ」の像のみ残る（川崎／宇藤順子） 渋谷西武も閉店、日々
変わる渋谷。この前も迷って30分もうろうろ
爆撃で今日も死にゆく人あれどニュースはガソリン優先の国（五所川原／戸沢大二郎）
平和なればこそその品々棚満たす彩りゆたかな百円ショップ（札幌／新保弥代枝）
そろっているものは残せと妻が言い押し入れに縛る「つげ義春全集」（大和郡山／四方護）
つげさんの絵は窓からの景色よと茅葺宿の女将目を伏す（宝塚／田中威至）「ねじ式」「ゲンセン
カン主人」「紅い花」「李さん一家」のつげ義春三月三日逝去。学生時代漫画雑誌「ガロ」を読んだことを思い出す
九条を変えたき者が九条の盾で防いだトランプの矛（西予／二宮和孝）
戦争を八十年もしなかった「普通の国」はたった八か国（愛知／松崎孝則）
もう一度言ってみたいよこのことば「おはようおかえり」「よろしゅうおあがり」（高槻／福
原よし子）関西地方で使われる言葉。「行って来ます」に対して「早く無事に帰ってきてね」、「ごちそうさま」に対
して「粗末なものでしたがよくお召し上がりくださいました」。祖母が使っていた言葉
東京へ攫（さら）われてゆく卒業子（神戸／上岡あきら） 大学進学も就職先も東京に攫われる
冥（くら）い春つげ義春を連れて行く（筑紫野／二宮正博） つげ氏逝き超現実の椿見ゆ（小林美奈子）
うぐいすのまだ猫八に及ばざり（栃木県壬生町／あらゐひとし） 広島で被爆した物真似師・三代目
江戸家猫八のことか
ママが開く湖面のファスナー鴨の子ら素直に列なし追いかけて行く（西海／前田一揆）
ぬまたばの闇の中からひさかたの光の中へ麻醉から覚む（八王子／額田浩文）
俣野氏の歌に叱られ熱量を上げて反戦デモに加わる（朝霞／岩部博道） 三週前の「熱量の少ない
国になって来（き）ぬ学生運動もデモも少なく」（亀岡／俣野右内）にんて
野球なら27死で終わりだがガザ、ウクライナそしてイランは（さいたま／大浦健）
花びらの滞空時間は飛距離とは比例はしないそれがまたよい（逗子／久家雅子）
春の夜に昔を語る居酒屋で友がポツリと「成田で」と言う（大和郡山／四方護） 成田・三里塚
闘争に参加した世代
「それよりも勉強しろ」と育てられ「結婚しろと」急（せ）かされた世代（東京都／上田結香）
この島に核のゴミ捨てに来るのかと白浜に混じる伯父の骨問う（鎌倉／小笹岐美子） 核のゴ
ミ処分地候補地南鳥島では第二次世界大戦中に百人近い戦死者がでたと註
トランプ氏の停戦発言揺れ続き毎日が万愚節のお人（岐阜／木野村暢彦） 万愚節4月1日

ノー言える友いることの幸せを思えりきつといないトランプ（観音寺／篠原俊則）
マクロンに抱きつかないのはなぜだろうEU軽視と思われぬか（八千代／井上正則）
戦争を始めた男囀（さえず）れる（京都／加藤しげお）
存在やエイプリルフールの闇に湧く（さぬき／鈴木幸江）二句ともトランプ由来
スーツケースガラゴロガラ春休み（芦屋／劉葉子）



📷 花菖蒲

アホウドリ
信天翁の身辺雑感

📍山岡寛樹さん（児童言語研究会委員長）の訃報が辻さんから届いた。花まつりの日に亡くなったという。癌を患っていることは23年の東京・白金台の明治学院高校での「教育のつどい」（全国教研）国語分科会、24年の和光小での民教連交流研究集会であっけらかんと話されていたが、突然の訃報に驚いたし、何より国語科教育という同じ空間で、同時代を駆けてきた畏友の鬼籍入りは心底堪える。児言研と文芸研は国語教育の世界では良きライバルで鎬（しのぎ）を削ってきた。法則化との不毛な論争ではなく、お互いに節度と敬意をもった論争の間柄であった。児言研の夏季アカデミー（夏季集会）や児言研埼玉県集会には授業をめぐってのシンポジウムに声を掛けていただき、私のほか辻恵子さん、山中吾郎さんが発言の機会をいただいた。「痛風で焼き鳥とビールはダメなんだ」と言いながら盃を酌み交わ

した日々を、理論肌で舌鋒鋭く切り込んでくる山岡さんとのやり取りを思い出している。ご冥福をお祈りする。

🍀 明星学園小学校の先生方との共同研究を始めて 15 年が経つ。川松泰美さん大野映子さんたちとの出会いがあり、月 1 回の国語研究会や公開研、毎年の大会参加を経る中で、昨夏千葉大会では洵江正仁さんが「やまなし」の公開授業提供・シンポジウム登壇、今夏大阪大会では根岸あずささんが詩「つるつるとざらざら」の授業報告を受けてくれた。先の洵江さんのほか東京サークル会員として伊野文子さん（21 年オンライン大会で絵本分科会「いろいろへんないろのはじまり」レポート）・国語研の取りまとめ役の松園悠介さんがいる。毎年年度初めの国語研究会は国語カリキュラムの検討から始める。明星学園は開校当初から教科書を使わない自主編成カリキュラムの学校として知られている。だからこそ、何のために・何を・いつ・どう教えるのか不断の検証が必要なのだ。「教育課程の自主編成」という言葉も死語になりつつある昨今、ほとんどの学校では教科書会社発行の年間指導計画を横滑りさせて済ませているが、「自主自立」をモットーとしている明星学園はここから始めているのだ。新たな先生方も多く加わり、今年の研究が始まった。

🍀 今年の GW も家人は山へ、旅行に出かけて私一人。レポートを読み込む。広島・吉田剛人さんの「ごんぎつね」は何と 120 頁超えの重厚なもの。連続テレビドラマを観るような感じで全 15 時間の授業記録を何回かに分けて読む。航太郎や蒼生、華、美沙希、陽菜子、ひなた、琉生、晴希、朱里…ら個性が際立つ記録である。学級全体の教授目標（教材目標）と敬祐・美鈴らへの個別の課題設定とその変容が見事である。「注文の多い料理店」の酒井大輔さんや若林悠恵さんのレポートもそうだが、課題を持つ子への授業での変容が書かれていていい傾向だと思っている。文芸教育は「個性（作品）による個性（読者）への教育」（西郷竹彦）というのはその通りだ。子どもの現実と教科の科学、教師の願いが一体化した授業構想力とは何かがわかるレポートだ。“学級の耕し”とはよく言われるが、吉田さんの実践記録から「ごんぎつね」までの学級づくり・授業づくりの布石と軌跡が鮮やかにわかる。

以前、但馬サークル・井上憲雄さんから出された提起（社会悲劇と読むことへの疑問）とその後の二分法的な議論を止揚統合し、この議論の混迷收拾に応える実践報告だと感心した。「村人はごんという存在をただゴミだと、ずっと下のランク。もうゴミなんですよ。」（悠光）という発言に社会悲劇として読む時代状況を《たしかめよみ》のはじめから押さえた授業事実が見事である。一章からのごんと村人のすれ違いから、いわし屋事件に見られる一方的な関係のくり返し、村中総出のおっかあの葬式や念仏講の「事件（こと）」の形象の意味、兵十と加助との会話に見られる村落共同体の厳しい現実、社会悲劇の象徴としての〈城〉の形象の意味をその都度押さえつつ、「ごんはもう兵十を見守るお母さんみたい」（美沙希）という人物と状況の二つの要素が縊（よ）り合わさって筋として織り成されることを詳（つまび）らかにした報告である。作品の思想を美として体験・認識（特に〈青いけむり〉の形象の象徴的意味づけは圧巻）した後の《まとめよみ》の典型化も、国語教育界の古典としての「ごんぎつね」は、吉田学級の子どもたちによって新たな作品の輝き（価値）が付加

されたといえよう。上履きを忘れたときの対応、休業中の宿題の多さへの異議申し立てに、威圧的・一方的な教師のあり様に「ごんぎつね」の世界を見る子どもたちは、自分たちの世界にも「子どもの権利条約」をとという宣言でもある。

“子どもを見縊(みくび)ってはいけない”というメッセージをレポートはくりかえし発する。言うことを聞かせることが教師の仕事ではない。吉田さんのように子どもの深部の声を引き出し、聴くのが教師の仕事なのだ。解放された学級の子どもたちはこんなにも喋り、語るのだ。授業中黙っている子が多く、発言する一部の子で授業が廻っていると悩んでいる先生は、吉田さんが“牛を川まで連れて行って、牛自ら水を飲みたくなるように”する寄り添い方＝方策をこの実践報告から学ぶことができるだろう。世に子どもを動かすことに長ける教師、授業の上手い教師はままいるが、吉田さんの授業はそれらとは違う。子ども自ら“水を飲みたくなる”時が来ることを信じ、寄り添い、ずっと見ているよとサインを送り、周りの子どもたちの力に依拠し教師も共に螺旋的に成長していく事実——教育のロマンに私たちは感動するのだ。「文芸は、感情と思考に同時にはたらきかける」(ゴーリキー)とは、「科学は問題を解決する。文芸は問題を提示する」(チェーホフ)とともに西郷先生から教えられた名言であるが、「文学は楽しみをもたらし、想像力を刺激し、感性を豊かにするだけでなく、読者や広く一般大衆に社会問題への認識を促す」(ジャン＝ポール・サルトル)ことであることが、一連の切実な共体験をめざす《たしかめよみ》の授業や《まとめよみ》の思想化・典型化の授業から教えられた。「ごんぎつね」の世界に牢固としてあり、今なお続く“貧困や搾取、疎外、偏見、差別、不平等…”の社会問題は、理性だけでなく感性・感情に訴えかけ、心を揺さぶる物語の形で読者に示されたとき、はるかに大きな衝撃をもたらす。吉田学級の子どもたちが衝撃(美的体験)を受け、認識を深めたように——。

今回の吉田剛人「ごんぎつね」の実践は、西郷先生の「教師のための文芸学入門」(テキスト「ごんぎつね」/明治図書 1968)・「文芸の授業入門」(テキスト「わらぐつの中の神様」/明治図書 1987)に続く“詳細な読みの文学の授業”の典型実践——「新・教師のための文芸学入門」「新・文芸の授業入門」といっていいレポートだと私は思っている。

吉田さんをはじめ、斉藤さん(宗谷)、淘江さん(東京)、松野さん(相模)、秋山さん(松戸)、松山さん(枚方)、赤穂さん(宝塚)、向井さん(広島)、酒井さん(山口東)、北山さん(鹿児島)…たちの最近のレポートが「授業シリーズ」(新読書社)の続編として書籍化できないか——待ち望んでいる。(3000部売れるなら出しますよという伊集院さんの顔が浮かぶ)

📌 中学校時代の恩師・下村克彦先生から「6月13日の枚方の国語4団体合同学習会に参加させてもらう」という電話があった。年賀状のやりとりの中で、今夏は大阪大会との一筆を添えたところ、大会要項があれば送ってほしいと所望され、大会要項と6.13合同学習会のチラシも同封したところ予期せぬ冒頭の電話が来たという次第。下村先生は和歌山大を卒業した新採の年に高野山中学校に赴任され、中学1年時の担任であった。10歳しか違わない若い下村先生がみんな大好きだった。体罰が当たり前だった時代、下村先生は一切体罰や

威圧的な指導をしない先生であった。だから今でも同窓会の度に先生を招待し、初任の教え子たちとの交流が続いている。私が教職という職業に魅かれたのも下村先生の影響が大きい。先生は和歌山県伊都郡かつらぎ町の校長で退職され（その際も同窓会をやり年休をとってお祝いに駆けつけたことを思い出す）、その後かつらぎ町の教育長まで務められ受勲された教育功労者であり地域の九条の会の活動もされている人格者である。「（同学年だった）K君の車でMさんも一緒に行くから。楽しみにしてるんよ。Mさんはもっと声を掛けてみると言うもったで」という電話で終わった。「恩師や同窓生の前で話すことになるとは――寝た師を起こす・打草驚蛇・藪蛇…どて（え）らいことなつた…」。

🇯🇵4月8日、4月19日と国会前に「戦争反対！ 憲法守れ！」と市民団体の呼びかけに呼応して3万人を超す人々が集まってペンライトをかざし声を上げたことは報道でご存知の方も多いと思う。（NHKだけが報道しなかったことが憶測を呼んでいる）その時は悪天候を理由に日和ったので、5月3日の憲法集会には枯木も山の賑わいとばかり有明の防災公園に出かけた。この集会は今年で18回目だというが、大江健三郎さんや九条の会の方々がマイクを握った集会である。国会情勢や憲法情勢を反映して5万人の参加があった。昨今の帝国主義的様相の国際情勢を反映して各種世論調査では改憲派が護憲派を上回っている。国会前抗議集会やデモを「民主主義ごっこ」「お花畑」と揶揄し攻撃する国会議員も出てきた。3日付朝日の「天声人語」には、「無言館」（長野県上田市）を取り上げながら次のように書いていた。「自由にもものを言い、好きなことに没頭できる時間は、戦後、当たり前のもになった。それは憲法という大きな木が、国の権力の行き過ぎから私たちを守ってきたからだ。この木のもと、平和でささやかな日常の自由が保たれてきた。だが、その葉が落ち始めている。時折ははらりと落ちる葉に、どれだけ敏感でいられるだろうか」。教育の世界だって、下位法令の学習指導要領が幅を利かし、「君が代」処分、奈良教附属小攻撃に表れているように教育現場の自由を圧迫している。武器輸出規制の撤廃、スパイ防止法、非核三原則の見直し等、教え子を再び戦場にする道につながるすべてに敏感でありたいと思う。



📷 無言館



現役時代の卒業式では、「国民主権・基本的人権の尊重・戦争放棄」の憲法3原則を呼び掛けの中にも必ず入れていたことを思い出す。来賓の自民党市議会議員からも「平和憲法は大事だ」と言葉をいただいたこともある。「戦争は御免だ」という思いは、保守層の方も含めて戦争体験のある人々の共通の思いでもあった。5月2日土曜夕のTBS「報道特集」では、元自民党幹事長・古賀誠氏がそのことを語っていた。



📷2026.5.3 憲法大集会 東京都江東区東京臨海広域防災公園



文芸研の実践理論研究誌

「文芸教育」

西郷竹彦創刊 文芸研編 新読書社刊

138号は3月刊行。特集「小学校教科書詩教材 豊かに深く授業する」。子どもも教師も「国語っておもしろい!」と思える授業のアイデアがいっぱいです/バックナンバーも用意しています。「文芸教育」誌は3月・7月・11月の年3回発行。定期購読をお願いします。1700円+税



毎年6月第一週の土・日、**久我山ホタル祭り**が行われる。2000匹の蛍が久我山駅近くを流れる神田川と玉川上水に放たれる。(今年はまだポスターが貼られていないが) 都心での蛍の乱舞を観ようと多くの人出で賑わう。(最寄り駅: 井の頭線久我山駅)

📍 文芸研東京学習会(BMS)連絡先 上西信夫

✉️ → nobu.uenishi@outlook.jp

📱 SMS → 080-3253-4742

学習会で扱う教材希望がありましたら上西までメールでご連絡ください。

第60回記念文芸教育全国研究大会・大阪大会



開催要項



主催：文芸教育研究協議会

1 大会テーマ《ものの見方・考え方》を育てる国語教育—真に深い学びを求めて—

ICTやAIをフル活用して「学びの自律化」「個別最適化」を目指す学習が今、どんどん進行しています。国語科も例外ではありません。しかし、ひとりの読みは、学級の友だちと語り合うことでより豊かになります。また逆に、みんなと話し合った豊かな経験は、一人ひとりの読みを前よりも深いものにします。だからこそ、語り合う授業が必要なのです。仲間と語り合う授業を通して《ものの見方・考え方》を育てる、これこそが私たち文芸研がめざす「真に深い学び」です。

文芸教育研究協議会委員長 辻恵子

2 大会期日 2026年8月1日(土)・2日(日)

- 3 会場 1日目 全体会 枚方市総合文化芸術センター別館 誠信建設工業メセナホール
(〒573-1191 大阪府枚方市新町2-1-5 2・3F) ☎072-843-5551
※Zoomでのオンライン配信有り(1日全日程・2日一部分科会)
2日目 分科会 枚方市総合文化芸術センター別館(1日目と同じ場所になります。)

- 4 参加費 4000円(学生2000円) 現地参加・オンライン参加共通
(1日参加の場合は、3000円、学生1000円)

5 大会日程

	1日目 8月1日(土) (オンライン併用)	2日目 8月2日(日) (一部オンライン有り)
会場 ・ 総合文化 芸術セン ター別 館	8:55～ 受付	9:00～ 受付(各分科会会場)
	9:15～ 9:55 開会行事/基調提案	9:30～12:30 分科会① 領域別分科会
	10:00～10:50 実践報告	12:30～13:30 昼食休憩
	11:05～11:45 文化的行事「桂紋四郎さん」	13:30～16:30 分科会② 学年別分科会
	11:50～12:45 昼食・休憩	
	12:45～14:45 記念講演Ⅰ「くすのきしげのりさん」	
	15:00～16:30 記念講演Ⅱ「鈴木大裕さん」	
	18:00～20:30 交流会	

◇現地枚方サークルはじめ関西・四国ブロックに連帯して大阪大会に参加しましょう。早目の申し込みが何より現地を励ますことを昨年の千葉大会で経験したこと。交流会にも一

6 大会内容

○全体会(8月1日 9:15~16:30)

●基調提案 辻恵子(文芸研委員長) 『語り合う国語の授業をめざして』

●実践報告 赤穂徳郁(兵庫文芸研) 『つながりを育んだ文芸研の学び』

●文化的行事 桂紋四郎さん(落語家)



東京・神田連雀亭や大阪・此花千鳥亭で毎月「桂紋四郎落語会“極”」を主宰。
さらに、なんばパークスや相模エンターテイメントショーホール「日楽座」では英語 MC を務め、伝統芸能と国際交流の架け橋として活躍中。
また、講談、浪曲、落語、文楽、能楽、茶道、華道といった上方伝統文化を担う若手が集結した「霜乃会」の一員として、国内外に日本文化の魅力を「わかりやすく」「面白く」伝えている。

●記念講演Ⅰ くすのきしげのりさん(児童文学作家)



児童文学作家。1961年徳島県生まれ。小学校教諭、徳島県鳴門市立図書館副館長を経て、現在は児童文学作家として活躍中。
絵本『おこだでませんように』『メガネをかけたら』(ともに小学館)が、青少年読書感想文全国コンクール課題図書となる。『メロディ』『ええところ』『ともだちやもんな、ぼくら』等、小学校(2024年度改訂)・中学校(2025年度改訂)の教科書において、小学校1年生~中学校3年生の全学年の教科書に作品が採用・掲載される。また、『あなたの一日が世界を変える』(PHP研究所)『Life』(瑞雲舎)『わたしがはやくねるわけはね……』(小学館)等200作品を超える著作は海外でも広く読まれている。

●記念講演Ⅱ 鈴木大裕さん(教育研究者・高知県土佐町議員)



16歳で単身アメリカに留学。スタンフォード大学大学院修了後に帰国し、通信教育にて教員免許を取得。6年半、千葉の公立中学校で教鞭をとった後に、コロンビア大学教育大学院博士課程に入学。2016年、人口4000人弱の高知県土佐町に家族で移住。2019年に町議会選挙に初出馬してから2期連続トップ当選。教育を通した町おこしを目指しつつ、執筆・講演活動をしている。著書に『崩壊するアメリカの公教育：日本への警告』(岩波書店)、『崩壊する日本の公教育』(集英社新書)など。

○領域別分科会(8月2日 9:30~12:30)

分科会名	内容	提案者	オンライン
① 詩	文芸研の詩の指導入門 詩の授業—イメージと意味を探る詩の授業— 「つるつるとざらざら」「はくさい ぎしぎし」「あめ」他	村尾聡(兵庫) 上西信夫(東京) 根岸あずさ(明星学園小学校)	
② 作文	表現の喜びを感じ、書くことを楽しく豊かに	斎藤鉄也(北海道)	○
③ 絵本	豊かな文芸体験と深い学びの絵本指導	西真由子(東京)	
④ 文芸学	「きょうね」「白いぼうし」「木」	西脇美穂・池間龍三・角芹奈 (福岡)	
⑤ ものの見方 考え方	ものの方・考え方 -ものごとを深く考えるためのカギを子どもたちに-	清田和幸・大田晃司・酒井大輔 (山口)	
⑥ 説明文	条件を生かす説明文指導「ありの行列」	松山幸路(大阪)	
⑦ 特別分科会	平和認識を育てる ~国語科と社会科を関連させて~	浅海勲(大阪)	○

◇東京文芸研からは、絵本分科会で西さんが、詩分科会で明星学園小学校の根岸さんと上西が、中高分科会で小松さんがレポーターを務めます。山中さんは中高分科会の司会者の任

とオンライン機械操作担当。

○学年別分科会(2日 13:30~16:30)

分科会	内容	提案者	オンライン
① 1年	「くじらぐも」	田井美由紀(神奈川)	
② 2年	「お手紙」	永淵和彦(佐賀)	
③ 3年	「モチモチの木」	秋山亮介(千葉)	○
④ 4年	「ごんぎつね」	吉田剛人(広島)	○
⑤ 5年	「注文の多い料理店」	酒井大輔(山口)	
⑥ 6年	「海のいのち」	若林悠庵(兵庫)	
⑦ 中学・高校	「少年の日の思い出」	小松小百合(東京)	

7 参加申し込みについて

(1) 申込期間 4月1日(水)~7月29日(水)

※現地参加のみ当日も受け付けます。ご希望の分科会に参加したい場合は、お早めにお申し込みください。

※資料は現地でお渡します。

※オンライン参加のみ、7月26日(日)以降資料をメールで配信します。

(2) 申し込み方法・お支払い方法

①グーグルフォームの場合 右横 QR コード「文芸研 60 申込」

または、<https://forms.gle/7r9hg7Xb7wTEffU2A> よりお申し込みください。

※お支払い方法

・ゆうちょ銀行振り込みとなります。(支払い期限 7月29日(水))

・申し込み確認後、メールにて振り込みについての詳細をお知らせします。



②peatix の場合 右横 QR コード「peatix」

または、<https://bungeiken-60-osaka.peatix.com> よりお申し込みください。

※お支払い方法

・クレジットカード/デビットカード/プリペイドカード、

コンビニ/ATM、銀行振り込み、paypal決済が利用できます。



※当日参加の方は現地で現金でお支払いいただきます。

※予約時に、分科会の希望を入力していただけます。先着順で振り分けるので、早めに申し込みください。

○現地参加……〈領域別〉〈学年別〉とも第2希望までお選びください。

○オンライン参加……〈領域別〉〈学年別〉とも「オンライン有」の分科会から1つお選びください。

※現地参加の方は、受付の際、「入金完了のメール」をご提示していただけます。「入金完了のメール」をプリントアウトしてご持参いただくか、スマートフォン等の画面で確認できるようご準備ください。

(3) 交流会 会場 梅の花グループ 食のつむぎ 枚方T-SITE店(枚方市駅より徒歩3分)

18:00~20:30 会費 6000円

※交流会は大会参加と同時に申し込みください。また、会費は当日現金でお支払いください。

交流会の会場の都合上(80名限定、貸し切り予約のため)参加される方は、6月30日(火)までにお申し込みください。

(4) 中止の場合 自然災害等で中止する場合は、メールでお知らせします。(文芸研 HP にも掲載します。)

なお、宿泊・交通費等、各自で手配されたもののキャンセル料は、参加者負担とさせていただきます。

京阪本線沿線で特急列車が停まる駅が会場の枚方市駅に便利です。

【会場へのアクセス】

- ◆全体会・分科会共に枚方市総合文化芸術センター別館 枚方市駅より徒歩 5分
- ◆交流会会場 梅の花グループ 食のつむぎ 枚方T-SITE店 枚方市駅より徒歩 3分



★第60回記念 大阪大会までの歩み「真に深い学びへのステップアップ」



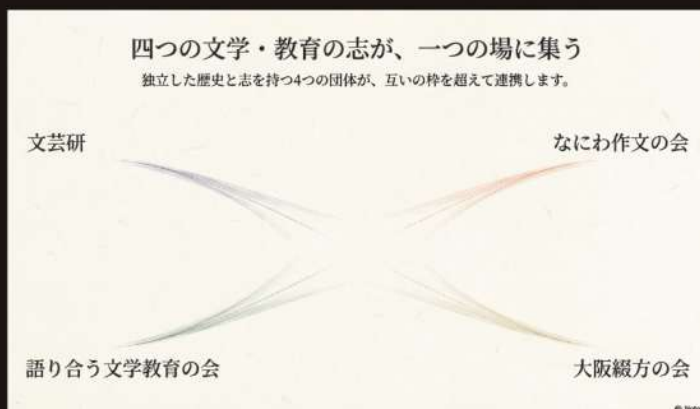
2025年から延べ300人以上が参加し好評だったプレオンラインセミナーを開催してきました。アーカイブも作成しました。
<https://forms.gle/9rdAiXXnVnNE75bD9>
 (ご興味ある方は、サポーターにご登録下さい。アーカイブをご覧いただけます。)

- ◇大会事務局 ●山中尊生(大会内容、現地、申込関係) imokonoko54@gmail.com
- ◇全国事務局 ●酒井大輔(文芸研へのお問い合わせ) shese002@gmail.com

条・祇園四条・三条・出町柳。特急停車駅ではないが、快速急行が停まる京阪寝屋川・京阪守口・門真市もビジネスホテルがあります。

文学を読む×生活を綴る 合同学習会 (ハイブリッド開催)

国語



場所

ラポール枚方
大研修室

6 / 13 (土)

FROM 9:50 - 16:00

参加費 500円

○現地参加の方は、現地でお支払い下さい

○オンライン参加の方は、PEATIXよりお申し込み下さい。

【合同学習会のご案内】

大阪綴方の会×語り合う文学教育の会×なにわ作文の会×文芸研

——「読む」「書く」の不易を、いま一度たしかめる。

初の合同学習会になります。国語の授業に悩んでいる全ての先生に届けたい内容です。是非、この機会に4団体の学びを体験しませんか。

【内容】

9:20 受付開始

9:40 開会挨拶

9:50 実践報告「大阪綴方の会」

11:20 実践報告「語り合う文学教育の会」

12:40 昼休憩

13:30 講演 土佐いく子先生(なにわ作文の会)

「ことばの力は、人間形成と学力の鍵」—作文教育の出番—

14:40 講演 上西信夫先生(文芸研)

想像力と認識力を育てる文芸教育

—確かさをふまえた豊かで深い読み—

15:40 閉会挨拶

4団体での初開催です。あなたの教育観が変わる一日にしましょう。

お問い合わせ

文芸教育研究協議会

imokonoko54@gmail.com
学習会事務局 山中尊生

現地参加のお申し込みは、下記↓かQRコードより

<https://forms.gle/4ZMyunLDf51HXvQb8>

